

平成25年第3回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 「きたひろしま生活シート」について

まず始めに、「きたひろしま生活シート」についてであります。昨年度、市内の小学4年生と中学1年生を対象として、家庭での生活習慣について調査を実施しました。今年度は、その結果を各地区の青少年健全育成連絡協議会で報告するとともに、調査結果から分析された課題などについて、PTA関係者や地域の健全育成関係者が集う青少年健全育成大会において、情報提供を行ったところであります。

2 幼保小連携教育の推進について

次に、幼保小連携教育の推進についてであります。平成23年度に、「北広島市幼児教育の連携に関する懇話会」を設置し、幼稚園・保育所から小学校への円滑な接続について、意見交換を進めてきたところであります。本年8月には、市内の小学校教諭、幼稚園教諭、保育士などを対象とした研修会を開催しました。

研修会には、90名の方が参加され、子どもの実態や現場での課題などについて活発な意見交換が行われたところであります。

3 教職員の体罰に関する実態把握調査について

次に、教職員の体罰に関する実態把握調査についてであります。北海道教育委員会では、本年2月から道内全ての小中高等学校等を対象に調査を行ってまいりました。

今回の調査により、全道において小学校で19件、中学校で22件、高等学校で34件について、体罰の実態があったと認められたところであります。

本市においては、児童生徒及び保護者から「体罰が疑われる」、教職員から「体罰を行った」または「受け止められかねない行為をした」との回答があった60件について、各学校長が関係者から聞き取りなどの事実確認を行った結果、小学校の教員1名について体罰の実態があったとして、北海道教育委員会に報告したところであります。

4 いじめ把握調査アンケートについて

次に、いじめ把握調査アンケートについてであります。全道一斉の取り組みとして、本年6月に市内全小中学校の児童生徒を対象に実施いたしました。

本市における回答者数は、小中学校合わせて5,091名で、「いじめられたことがある」との回答が459名(9.0%)でありました。主な内容につきましては、悪口、たたく・ける、仲間はずれ・無視の順となっております。また、「今もいじめられている」が157名(3.1%)、「いじめを見た、聞いた」が465名(9.1%)となっております。

その後の各学校における追跡調査の結果、いじめと認知した件数は、小学校が1校で1件、中学校は3校で4件でありましたが、現在は指導を終え、解消しているところであります。しかしながら、いじめにつきましては、いつでも、どこでも、誰にでも起こりうることでありますことから、引き続き調査し、対応していくことが必要であります。

5 特別支援教育の充実について

次に、特別支援教育の充実についてであります。特別な支援を必要とする児童への基本的な学習や生活態度をしっかりと育成していくため、特別支援教育支援員を計画的に増員し、小学校に複数配置を行ってまいります。

なお、本定例会において支援員を増員するために必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

6 授業補助員活用事業の充実について

次に、授業補助員活用事業の充実についてであります。教員だけでなく地域の外部の人材を活用することで、児童生徒の授業への関心を高め、よりわかる授業やきめ細かな指導を行うなど、指導方法の充実が図られるよう授業補助員の配置時間を拡大してまいります。

なお、本定例会において事業の拡大に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところでもあります。

7 北海道中学校体育大会の結果について

次に、北海道中学校体育大会の結果についてであります。7月25日から8月5日にかけて道内各地で開催され、体操競技女子二部の種目別床で東部中学校 ^{こだまうらら} 児玉麗楽さんが1位、女子柔道52kg級で西の里中学校 ^{ささきいくみ} 佐々木郁実さんが3位、女子バスケットボールで大曲中学校が3位の成績を収めることができました。

さらに、東部中学校野球部が準優勝し、8月17日から愛知県豊橋市で開催された全国大会に、市内中学校野球部として初めての出場を果たしました。

この大会には、全国の中学校から代表25校が出場し、同野球部は、惜しくも一回戦で敗れたものの、自分たちの持てる力を最大限に発揮し、北海道の代表として、北広島市の名を全国に十分に知らしめるとともに、生徒達は全国から集まった球児らと対戦し交流を深めるなど、貴重な体験をすることが出来たものと思っております。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。